

## 「ITによる布教活動」

日本テンプルヴァン(株)井上拓郎

### 「オンライン法要」

今年のお盆は新型コロナウイルスの影響により、例年と違った施餓鬼法要などを行ったご寺院が多かったと思います。大勢のお檀家さまが集まる法要は、三密（密閉、密集、密接）を回避し間隔をあけて行ったところもあったと思います。他にも法要の回数を分けたり、新盆の方のみ限定して施餓鬼会を行ったところもあったようです。

コロナ禍で今まで通りの法要や棚経などの布教活動が出来ない今、皆さまも色々模索しながら活動されている事と思います。そこで今回は実際に弊社にあったご相談から、いくつかのご寺院での取り組み事例をご紹介します。何が正解かは判りませんが、ご参考にしていただければ幸いです。

#### ① オンラインで法要を配信していただく けないでしょうか？（檀家側の要望）

施餓鬼法要の案内状を例年通りにお送りしたお檀家さまから、法要には参加したいが、コロナウイルスへの感染が怖いので、オンラインで法要の様子を配信してもらえないでしょうか？と問い合わせがあつ

たそうです。他にも緊急事態宣言下で東京から菩提寺のある県までの移動は自粛しなければならぬので、オンラインで法事に参加できないか？といったご相談がご寺院にありました。

#### ② 法話会などを映像配信したい。

##### （ご寺院側の要望）

法話会がコロナウイルスの影響で、しばらく開催していないので、せめてお檀家さまへ映像だけでも配信して、寺院として活動しているところを見せたい。また配信はお檀家さまのみ限定で見られるようにしたい。というご相談がありました。

どちらの場合もYouTube（チューブ）などを利用して、ご寺院にインターネットの環境があれば映像を配信する事が可能です。配信の方法につきまして、インターネットで検索すると容易に見つけることが出来ますので、ここでの説明は割愛致しますが、それぞれ留意点があります。YouTubeの場合は、有償で配信するとガイドラインに抵触し、動画の削除、もしくはアカウントが停止となる可能性があります。また映像の中で音楽を流している、著作権の関係で同様の措置が取られる可能性がありますので注意が必要です。

## 「オンライン勉強会」

宗派や教区、または地区仏教会で定期的に開催している教師向けの勉強会なども、コロナ禍で中止や延期になったところが多かったと思います。そんな中、最近ではオンラインで開催しているところも増えています。この様なオンラインでの勉強会や打合せは、ZOOMというサービスを利用すると簡単に出来ます。ZOOMはテレビ電話の様な仕組みで、カメラ内蔵のパソコン、タブレット端末、スマートフォンがあれば誰でも参加出来ます。最近では大正大学でZOOMを使い盆踊りを開催しました。また、お檀家さまとの葬儀や法事の打合せに利用しているご寺院もおります。

新型コロナウイルスの影響で悪い事ばかり耳にしますが、テレワークや自粛期間のおかげで、一家団欒の時間が増えて家族の絆がより一層強くなったという話も耳にします。もともとお寺には、家族全員でのお墓参りや、親戚一同で法事や法要で伺い、家や親戚単位でその家系の宗教教育が行われていました。それが今では核家族化で、お墓参りや法事や法要は個人単位での参加が殆どではないでしょうか？家族の絆が強くなった今こそ、様々な手段を用いた教化活動が重要なのだと思います。